

08年度活動報告書

09年5月23日
岡山県オリエンテーリング協会
理事長 佐藤旭一

<事業報告>

概要は「08年度活動計画実施状況結果表」参照。

1. 会議体関係

(1).理事会兼総会

- ・4月19日(土) 13:30~15:30 ライフパーク倉敷 2F 特別会議室(2)
- ・出席者 千田会長、堀氏、中野氏、松田氏、下名
- ・07年度活動報告、07年度収支決算報告…提案どおり了承
- ・08年度活動計画、08年度収支予算書…提案どおり決定
(詳細は既配布の08年度上期理事会兼総会開催結果報告参照方)

(2).理事会

- ・10月11日(土) 13:30~16:00 ライフパーク倉敷 2F 会議室
- ・出席者 伊東氏、濱上氏、堀氏、中野氏、松田氏、下名(千田会長は急用のため欠席)
- ・「08年度上期活動報告書および下期課題と取り組み」「平成20年度収支中間報告書」に基づき報告…質疑後提案どおり了承、決定。
(詳細は既配布の開催結果報告参照方)

(3).対外団体

- ・5月13日(火) 岡山県スポーツ振興財団代表者会議(佐藤)
- ・5月30日(金) 岡山県レクリエーション協会評議員会(佐藤)
- ・7月29日(火) マルセン財団助成金交付式(会長、佐藤)
- ・9月30日(火) 岡山県レクリエーション協会代表者会議(佐藤)
- ・11月7日(金) //

2. 大会関係

(1). 第27回笠岡市オリエンテーリング大会を主管

- ・4月27日白石島にて開催(62組138名、延べ149名参加)。前年は72組125名、延べ135名参加。
運営者10名：佐藤、松田、山縣、梶房、寺松、六車、濱本、大原(浜上、上田)
- ※第28回(平成21年度)は82組172名、延べ186名参加

(2).OLC 吉備路 第41回真備町大会を後援

- ・1月12日(土) 倉敷市真備町岡田

(3).第3回倉敷市福田公園パークO大会を主催

- ・1月25日(日) 倉敷市福田町 水島緑地福田公園にて開催(34組61名、延べ65名参加)
運営者10名：佐藤、松田、伊東、浜上、山縣、梶房、中野、大原(堀、吉村)
前年は29組40名、延べ51名参加。

(4).平成20年度岡山市操山大会を主催

- ・2月15日(日) 岡山市沢田 操山公園里山センターにて開催(42組86名参加)
運営者9名：佐藤、松田、伊東、浜上、山縣、大原、菅原(中野、堀)
前年は35組52名参加。

(5).平成20年度岡山県民大会(吉備高原)を主催

- ・3月15日(日)加賀郡吉備中央町 さんさん広場にて開催(46組68名参加)
運営者10名：佐藤、松田、伊東、浜上、山縣、梶房、寺松、六車、大原(中野)

3. その他

(1).医療法人きこのグループ新入職員研修オリエンテーションの運営（3回目）

- ・4月4日(金)約50名参加、9班に分かれ実施、運営者3名：佐藤、浜上、梶房
※平成21年度(4回目)も4月4日実施済み(36名)。

(2).中国短大学生研修オリエンテーションの運営（初めて）

- ・5月10日(土)108名参加21班に分かれ実施、運営者3名：佐藤、浜上、山縣
残念ながら雨のため途中で中止。

(3).スポレク・IN・OKAYAMA2008

- ・12月13日（土）岡山ドームにて開催(52組126名参加)。前年は44組125名参加。
運営者7名：佐藤、松田、浜上、山縣、溝辺、六車（堀）

(4).ライフパークオリエンテーション講座

- ・1月17日、24日、31日(37名×3日)。前年は27名×3回。
運営者4、6、6名：佐藤、松田、浜上、山縣（3日間）、梶房、大原（2日間）

(5).パーマネントコース実態調査

- ・岡山山陽PC調査済み、使用不能。

(6).08年度競技者登録手続きの実施（14名登録）。前年プラス1名。

(7).コンパス販売2ヶ。(完売)

(8).中学校の自然教室支援は今年度要請がなかった。

また、県レク協会主催のニュースポーツセミナーに応募し採用されたが応募者少なく中止となった。

(9).12月7日全日本リレー選手権大会、3チーム派遣。(ME、MV、XV)。前年と同数チーム派遣。

- ・ME：堀、大原、菅原 MV：大森、寺松、中原（9位） XV：浜上、山縣、佐藤（5位）

(10).財団への助成申請

SSFスポーツエイド、エネルギー財団、マルセン財団に県民大会（吉備高原）開催で申請。

SSFは20万円、マルセン（10万円）助成。エネルギーは2回申請するも不可。

ワコー財団に第28回笠岡市大会、福祉医療機構にトレイル&パークO大会で申請しいずれも助成決定。
助成年度は平成21年度となる。

(11).ニュートレインマップの作成

助成金をもとに吉備高原鳴滝湖ニューマップを作成し県民大会に使用するとともに国立吉備青少年自然の家に無償提供(BMPデータおよびポイント、スコアコース図各250枚)した。

7～9月事前調査3回（佐藤/浜上/梶房3回）、11～12月GPS調査7回（佐藤7回、浜上6回、梶房/山縣/伊東2回、六車/大原1回）、12～3月詳細調査18回（佐藤/浜上18回、梶房13回、山縣4回、吉村5回）

(12).EMITシステムの調達

助成金をもとにEMITシステムを調達し1月からの大会運営に供した。

(C/U 35ヶ、S/U 3ヶ、MTR4 1ヶ、E-CardVer2 40ヶ)

(13).各種広報

HP掲載以外に、RSKラジオ電話取材、FMくらしき生放送、山陽新聞のオリエンテーション紹介記事掲載および都度の行事予定と成績掲載、NHKテレビの3回にわたる放映によるPR等。4月にはFMゆめウェブでも。

今後の活動にとって大変大きなPR効果があるものと思われる。

(14).その他関連情報

岡山県スポーツ振興財団が財団法人岡山県体育協会と統合され、県体協が事業継続団体となった。それに伴い、県レク経由補助金が8万円→3万円に減額される。

<会計報告>

・08年度収支決算報告（別紙参照）。

<総括>

大会開催は主催数が1つ増え各大会の参加者数も回を追うごとに大きく伸びている。初心者向け普及行事関係も堅調に推移し参加者の伸びも順調であり徐々に加速されている様子がうかがわれる。これは「初心者に配慮したイベントであるとともに、経験者にも満足してもらえる大会を志向」するスタンスが受け入れられている証と考えられる。会計収支関係も問題ない。

一方マクロ的に中四国九州地域のオリエンテーリングの実態をみれば、当県を含め活性化されているとは言い難く、むしろ全般的には競技者減少で依然として衰退の傾向にあるのは否めない。（競技者登録者数は当県の14名を除き他県は1桁。大学クラブ消滅。ディレクタ登録減。大会開催数等）

マイナースポーツ（レク？）からブレイクすることを今求める必要はないだろうが、オリエンテーリング黎明期から続いているリソース（人的、組織的）、競技への取り組み方（高精度マップ、クラブ単位の活動等）をこの数年のうちに見直し再構築し、次世代につなげる取り組みが極めて重要と考える。県協会として種々の面で一体化を志向し一層の充実を計ることに優先し取り組まないと、県レベルでの継続も困難になることが目に見えている。

以上